

西岡市長、6月議会では 公立保育園3園廃園の条例提案できず



小金井で元気に！小金井を元気に！

五十嵐京子 通信 第61号

小金井市議会議員

2022年7月発行

五十嵐京子を支援する会



8月初めに全員協議会の開催を予定 臨時議会開催の可能性は？

現在5園ある小金井市立保育園には、かねてから3園の民間委託化が課題となっていました。西岡市長は昨年、突然この3園の廃園の方針を議会に示しました。これに対し、あまりにも突然の提案であったため、保護者など関係者への説明をすべきという陳情が全会一致で採択され、計画は1年間延期となり、この間説明会の開催をしてきました。

今年に入って、廃園の条例案はパブリックコメント（意見募集）が行われ、反対多数ではあったものの、来年度の保育計画を立てるために、西岡市長は6月議会に廃園の議案の上程をしたいと説明をしていました。しかし、議会からは重要な問題なので議会全員協議会で説明をすべきという声があり、5月20日、6月3日と6日の3日間質疑など行いました。この間、提示されている将来の財政効果の資料は事実と違うのではないかとの指摘もあり、全員協議会は

再開されることなく、6月議会は閉会しました。西岡市長は7、8月の閉会中に全員協議会と臨時議会を開きたいとの意思を示し、まずは8月初めに全員協議会を開催することとしました。

国の保育無償化政策の影響

私はこれまでも公立保育園の一部民間委託化は行財政改革の観点から賛成の立場をとっています。特に、3年前の国の保育無償化政策が始まって以来、保育の現場には大きな変化が出ています。国は民間保育園の建設費補助や保育士への補助を厚くしており、その結果市が保育園の建設をするとは大幅な市負担の増加となり、また保育士募集にも影響が出ています。地方自治法に言う「最少の経費で最大の効果」を実現するためには、保育園の運営は民間が効率的な仕組みになっており、そのため他市においても公立保育園の減少傾向が見られます。

無計画な西岡市政の保育政策

さらに、西岡市長は就任して6年、特に駅に近いところに民間保育園を増設してきました。その定員増は平成27年の2007人から令和4年の3942人と倍増し、運営費も同様に倍増しています。現在、待機児は11人に対し、7月の保育園の募集人員は400人を超す状況まで民間園は増加しています。それと同時に従来から長い間小金井市内で保育行政の一翼を担ってきた認可保育園が定員割れとなり経営に不安を持つ園も出てきました。このままでは、過剰供給となり、経営が成り立たなくなる園が出てくるのが懸念されます。

西岡市長は当初から市立保育園の一部民間委託化の課題をよく知っており、その課題を先送りしたまま、新しい保育園を増園するという無計画な保育行政を進めたことが今日の混乱の原因を作ったと思います。貴重な税金を使い、多くの人々に影響を与える事業だからこそ計画的な事業推進は、市政運営の基本であり、その責任は大きいと言わざるを得ません。



第二回定例会の質疑から

一般質問、予算審査、さらに庁舎建設の協議会の設置

一般質問から

武蔵小金井駅北口の街づくり

5年前に北口の大型商店が閉店をし、その後、一端設置された北口の再開発準備組合が解散し、動きが見えなくなった武蔵小金井駅北口の街づくりですが、当初の計画を見直し、規模を縮小して再開発の準備が進められていると聞いていました。昨年度はその大型店の北側の駐輪場も閉鎖となり更地になっています。

地権者の話し合いが引き続き進められており、市としても再開発事業を進めるために自動車動線や歩道など公共貢献のアドバイスをしているとのこととを確認しました。北口を利用する市民には待望の事業であり、市としても積極的に進捗を図ることを求めました。



武蔵小金井駅北口の閉館となった大型店

「ひきこもり」対策の現状と課題

社会問題となっている「ひきこもり」について、特に19歳以上の大人を対象とした小金井市の取り組みの現状と課題について質問しました。社会福祉協議会に委託している福祉の総合相談

窓口で相談を受け付けていますが、最近の相談数は年間20件を越す相談があり、長期化、高齢化していることがわかりました。必要に応じて医療へとつなげ、アウトリーチでの対応、また家族会との連携を諮っているとのこと。東京都の取り組みも近年進められてきているのが実態で、まだまだ本格的な体制にはなっていないようです。

まず、できるだけ早く必要な医療につなぐこと、そして支援体制をどう作るか、が対策のポイントのように思います。今後も市の対策を見続ける必要があると感じました。

図書館本館の課題をどう解決するか

図書館本館の建て替えは多くに市民の要望です。そして、今年の春に示された令和4～8年の図書館基本計画には、公民館貫井北町分館を除いて、本館や公民館分室は蔵書が増え施設の限界を超えているとの記述があります。西岡市長は最初の市長選挙で図書館の建て替えも公約に掲げていましたので、その対応について質しましたが、検討はされていないことがわかりました。今後の図書館の機能充実を考えると方向性だけでも早急に出すことを求めました。



小金井市立図書館本館

補正予算から

コロナ対策や物価高騰対策に

3回目の補正予算の審査が行われ、総額18億円余りの提案の内容はほぼコロナ対策と物価対策で国からの補助金等がベースとなっているものです。4回目のワクチン接種に要する費用、住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金、子育て世帯生活支援特別給付金、地域振興券発行事業、小規模事業者持続化サポート補助金、その他に、原油価格高騰の影響への支援で公共交通事業者継続支援金事業、さらに、物価高騰の影響への支援で、学校給食補助金事業も盛り込まれた補正予算となりました。

「庁舎等建設に関する協議会」の設置

第一回定例会で、庁舎等建設については、西岡市長から議会と行政とで新たな協議の場を作り、建設可能な成案を見いだすための論点整理をしたいとの意向が示されました。そして、あまり例のないことであり、市長と議長が協定書を結ぶ形で「庁舎等建設に関する協議会」を設置し、会則で運営を定め、5月10日に第1回をスタートしました。この協議会の検討項目は設計、建設時期、コストのこと等となっています。

私（五十嵐京子）が座長を務めることとなり、まずは各会派の考えを伺い、意見交換を続けています。市長からは大幅な設計の変更も視野に入れ、との考えも示されています。議会もこれまでの発言にこだわらずより良いものにするための見直しを検討し、期限である10月末までに論点整理をしていきたいと思ひます。

小金井で元気に！ 小金井を元気に！

小金井市議会議員

五十嵐京子

通信
第61号

2022年7月発行

五十嵐京子を支援する会

小金井市本町 3-8-9-312

電話 042-384-9920